

案件に関連する指摘・対応状況

国名：案件名
ペルー：カハマルカ上下水道整備事業
(1) 問題・指摘の概要
2020年度の事後評価では、以下が確認されたとして、総合評価「D」となった。 <ul style="list-style-type: none">・ 対象都市の一部施設は未完成で、事業費が当初計画を大幅に上回った。・ 一部の市では、上下水道施設の運営・維持管理を上下水道公社へ移管する手続きが進んでいない。
(2) 原因
<ul style="list-style-type: none">・ 一部都市の下水処理場に関しては住民の反対等により建設の中止が余儀なくされた。・ 上下水道公社の下でサービスが料金に与える影響を懸念し、上下水道公社へのサービス移管に反対する住民が多くなり、一部の市では移管手続きが進んでいない。
(3) これまでの対応及び現状等
2021年9月末までに対象11都市のうち、8都市の工事が完了し、稼働を開始したが、このうち3都市では経年劣化や改良に向けた残工事、2都市では、住民の反対等への改善策に対応中。工事未完了の3都市のうち、2都市は他事業として建設。1都市は貯水量の減少や土地収用が困難との理由から、実施機関よりスコープから外す意向について同意申請があり、2022年3月に同意済み。
(4) 今後の対応・教訓等
借入人に対して事業終了に向け働きかけを継続する。 今後の教訓としては、事業の持続性が施設の事業運営権の移管（実施機関→地方自治体→上下水道公社）のように地方自治体の権限に直接関わる事業においては、その実現に向けた方策を講じることが必要。